

題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(一財)日本友愛協会

〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文天ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-mail:yuai@yuaiyoukai.com

http://yuaiyoukai.com

発行人：川手正一郎

編集人：

隔月1回 10日発行

年会費

2,000円

国際交流事業へトナムへの車椅子贈呈事業

ハノイ／オリンピア小学校にて贈呈式開催

厚生省トウアン副大臣・科学技術連合協会カイ副会長・枯葉剤障害協会リン会長など出席

鳩山由紀夫理事長オリンピア小学校の生徒に優しく「友愛」を説く

三月十二日(日)午後ハノイのオリンピア小学校講堂にて、車椅子贈呈式が開催された。

関係各位多数出席の中、各地から参集した車椅子を受け取る少年少女に輝く笑顔が生まれた。鳩山由紀夫理事長は、枯葉剤被害を小学生に説き、友愛の理念を伝えた。



多くの方のご尽力を得て今年も六〇台を贈ることができましたと挨拶。微力ではあるが続けて行きたい有意義な事業ですと鳩山由紀夫理事長



友愛の理念のもと、この事業を続けていきますと、小学生に解りやすい言葉で丁寧に世界平和を語った



車椅子に座ったとたん、戸惑いとともに笑顔が溢れて、連れて来た親御さんの目には涙も



「世界平和の為に何ができますか」との質問を「素晴らしい質問です」と誉められて緊張が笑顔に



遠い町から、この日の為にやって来た。車椅子までは、いつも通り背負われたり、だかれたりの状態



車椅子に座って、言葉が出ない程嬉しいですと語る青年。まず自分で市場に行って買いたい



言葉では伝えられない喜びを、指先のピースサインに込めて表現する少女。親御さんは涙ぐんでいた



町や村の代表とともに、車椅子を受け取りにハノイに集まった方々。支援する人々も喜びの笑顔

ベトナムへの車椅子贈呈事業は、三年前より、日本友愛協会の国際交流事業の一環として実施されている。ベトナム戦争時、米軍の使用した枯葉剤による土壌汚染の影響で、障害を持った子供が生まれるなど、科学兵器の被害は、今なおベトナムの各地で人々を苦しめている。

ベトナム政府もブックナム国際病院を設置、対策には力を入れているが、物資の不足は否めず、得に車椅子が無いため、社会進出は

もとより、通院もできない子供、青少年が多くいるのが現状である。ブックナム国際病院を訪問した際、その現実を見聞きした鳩山由紀夫理事長が発案し、東アジア共同体研究所との共同事業として車椅子贈呈事業が発足した。

があり、合計六〇台の車椅子を贈ることができた。この事業は、ベトナム国内では全国ニュースとして流れ、車椅子を希望する市町村が年々増えている。その中から、今年は八箇所の市、省に分散して届けられた。南北に長いベトナムの北から南まで、全国各地で日本友愛協会・東アジア共同体研究所のロゴマークシールの貼られた車椅子が活躍することとなる。会場となったオリンピア小学校の講堂には、この日

友愛時評

▼オーストリアへの学生派遣に合わせて史料収集の出張を組み、ウィーンでの日程の一部参加した。二年前の訪奥団と比べると気楽な交流も多く、参加学生はそれぞれ多くの収穫を得たようである。▼最終日の夜、打ち上げの居酒屋に向かうとヨーロッパハウスの玄関を出たところ、ある学生が「財布を失くした」と血相を変えて戻ってくるのと鉢合わせた。聞けば、落としたか盗まれたか、わからないという。成り行き上、警察署への届け出に同行しながら、どっちにしろヨーロッパでは出てこないだろうなあ、と思った。▼そもそも現金の落し物が届くことがあるのだろうか、と統計や記事を検索してみたが全くヒットしない。代わりに隣国ドイツのオクトーバーフェストの落し物に関する映像ニュースがいくつか見つかった。二週間余の期間中に約三千件の落し物が届くそうで、中には車椅子とか入れ歯とか、落とし主のその後に？がつくものがあるのも(意外と)万国共通である。ただ、やはり財布や金券の類は見当たらない。▼日本を訪れた外国人が金目の落し物が戻ってくることに驚くのは、やはり国際的に特異だからであろう。韓国でも財布は結構届くらしいが、それは至るところに設置された監視カメラのおかげだというし、欧米でもイスラム圏でも、どうも神様はネコババには寛容なようである。▼もっとも東日本大震災時に窃盗事案を見聞きした筆者には、こうした道徳性が日本人の皆に生来備わっているものとは思えない。「正直者が馬鹿を見ない」社会のあり方を頑張って示しつつ、後の世に美徳を伝えるべきと思う。



「オリンピア小学校図書館に日本語の本を寄付します」と発表。ニクス証券(株) 西川敏明CEO



「枯葉剤の被害の状況を理解していただきたい」と述べるギエムブーカイ副会長 親日活動も熱心に



「こうした活動で支えたいだいたい感謝します」とフアラム・レー・トゥアン厚生副大臣

のために支援者と共にハノイまでやって来た人々が少し緊張した面持ちで参集した。ここまでは、いつものように抱き上げたり、背負ったりと、支援のボランティアの方々の補助を受けてやっていた。



参列者の長寿と繁栄を寿ぐための民族舞踊が披露された。田植えの苗に見立てた植物は、長寿の印



オリンピア小学校では、親日的授業が取り入れられている。子供達で作った特徴入り立体に本地図



各地方の民族衣装で、様々な舞踊を披露してくれたオリンピア小学校の生徒たち

家から出て活動することができなかったという青年は、車椅子の車輪を手で動かして「しっかりとっているし動かし易いし、これで私も家族や友人に迷惑をかける存在から、少しは役に立つ人間になれます。皆に恩返しができます。本当に嬉しいです、嬉しくて何て表現したら良いか言葉が見つかりません」と満面の輝く



チャオと呼ばれる植物の種子で作った苗に見立てた縁起物。この実を繋ぐことが長寿に繋がるとか



枯葉剤の影響で障害を持つ人々が作ったビーズの飾り物。鮮やかな彩りで珊瑚を描いている



障害者の方が車椅子のお礼にと作ったバラのブローチ。鳩山理事長もこれを着けてお話をした

笑顔でテレビのインタビューに答えていた。オリンピア小学校は親日教育が盛んで、毎週金曜日には日本語の歌を楽しむ時間がある程だ。そのため鳩山由紀夫理事長からの「世界が仲良く一つに」との話しが、積極的な質問も多く、鳩山理事長は優しい笑顔でこれに答えていた。(同行 羽中田記)



教科書を手には講義をする安岡定子先生。笑顔を絶やさぬ素敵な女性。参加者はすっかり魅せられて

今日は母安子の命日である。当日は昨日までの寒さも和らぎ暖かい陽ざしの中、参加者が集合した。当初三〇名の定員予定であったが、希望者が多く、急遽四十五名にまで増やしたため、会場はすし詰め状態になってしまった。冒頭鳩山由紀夫理事長が開講の挨拶を行った。川手正一郎常務理事も



今こそ友愛の理念が必要な時ですと、講座開設の意義を話す鳩山由紀夫理事長

り、私の誕生日でもありません。母からきつちりと友愛の理念を実践しながら生きていくよう、叱咤激励されているのだと思います。この様な日に安岡先生をお迎えして「論語に学ぶ友愛講座」が開設されるのは、喜ばしいことです。皆さんと一緒に、頑張つて勉強して参ります。



ご縁の深い安岡先生に来ていただき、光栄ですと講師紹介。川手正一郎常務理事

り、講師紹介が行われ、講義に入った。まず安岡先生から、孔子と論語についての講義があり、孔子の生きた中国の時代背景の説明があった。この辺りから既に、参加者はぐいぐいと安岡先生の講義に引き込まれている。教科書には『実践・論語塾(四面書評欄にて紹介)』が用いられ、安岡先生の優



十九歳から八十歳代まで、年齢もまちまちだが学ぶ意欲に溢れた参加者は、熱心に講義を受ける

しい解りやすい講義に、参加者はみな頷きながら聴き入っていた。「素読」に感動 一つの章句に解説が施された教科書を、孔子の人格などのエピソードを交え、講義が進んで行く中で、安岡先生が「素読(そどく)」を薦められた。先生の声の後に続き、実際声を出して章句を読むという、小学校以



小峰秀子評議員(右)より誕生日のお祝いのお花束が贈られ、全員が拍手でお祝した

塾、「斯文会湯島聖堂」も論語塾等全国各地で二十三講座に及ぶ講座を開設、幼い子どもたちやその保護者に「論語」を講義している。また成人のための講座も各地で開催、ラジオ・テレビに出演する等幅広い活躍を続けている。『安岡定子の優しい論語』CD集をはじめ著書多数。

新講座「論語に学ぶ友愛」開講

講師に安岡定子先生をお迎えし四十五名が参加 「友愛サロン」には学ぶ喜び・知る感動が満ちあふれて

クーデンホーフカレルギー伯の唱えた「仁愛」を、日本友愛協会の創設者故鳩山一郎先生が訳した「友愛」という言葉は、日本友愛協会・東アジア共同体研究所の理念の礎となっている。ヨーロッパにおける博愛という理念のみならず、中国においても墨子が「兼愛」という言葉で、差別のない世界を説いており、洋の東西を問わず、「友愛」は「人間が生きていく上での要であることが解る。世界が混沌としている今こそ、友愛の理念が必要との思いから「論語に学ぶ友愛」講座が開設された。この講座は日本友愛協会と東アジア共同体研究所の共催で行われる事業で、両団体の会員から参加者を募り年五回の予定で開催される。鳩山安子名誉会長のご命日、鳩山由紀夫理事長の誕生日にあたる二月十一日、第一回目の講座が友愛サロンにおいて開講された。

休息のお茶を挟んで、活発な質問も飛び交い、午後四時三〇分、第一回講座は、無事終了した。終了後、今回の講座開設に尽力された小峰秀子評議員より、鳩山由紀夫理事長にお誕生日を祝う赤いバラの花束が贈られ、鳩山理事長は、少しはにかみながら笑顔で受け取った。次回は四月二十二日開講

日本友愛協会・東アジア共同体研究所 共催

国際交流事業 派遣の部 エヤツプへ学生六名派遣

教授推薦の学生六名はすっかり打ち解けて 十七日、羽田から意気揚々とウイーンへ

日本友愛協会と友好関係を結んでいるオーストリア勤労青年連盟(OJAB・エヤツプ)へ、六名の大学生が派遣された。今回の派遣は、研修を主に学生間の交流を目指すもので、早稲田大学谷藤悦史教授、東北大学戸澤英典教授、慶應義塾大学井上浩義教授より推薦を受けた男女それぞれ三名ずつ計六名で派遣団を結成した。六名の大学生は、二月十七日から二月二十六日まで、国連のCTBTO(包括的核実験禁止条約機関準備委員会)を訪問するなど、充実した研修予定のもの十日間ウイーンに滞在し、見聞を広めることとなる。

二月十六日(木)午後二時、派遣員の六名は少し緊張した面持ちで友愛サロンに集合した。川手常務理事より、友愛についての講義を受け、少しづつ緊張がほぐれて行ったのか、ウイーンに向けての期待が膨らんで来たの

か、鳩山由紀夫理事長の前には、各人が自己紹介をする頃には、元気が溢れていた。今回の派遣は、平成二十八年度事業として行われる国際交流事業の一つで、昨年来日したOJAB派遣員受入事業と対をなす派遣事業である。

派遣員の選考にあたっては、当協会の役員を務める三人の大学教授に、それぞれ男女一名を推薦していた。計六名の学生の派遣を理事会で決定した。受入側のエヤツプも、六名の大学生が派遣されることを大いに歓迎し、綿密な

スケジュールを立て迎え入れの準備をしている。エヤツプからは、写真入りの三〇ページに及ぶ「旅のしおり」が送られてきており、時間を有効に使った、充実の行動予定が記されていた。

初日の、エヤツプの活動の様な事業活動が実施されるのは、学生にとって喜ばしいことであると挨拶。井上浩義理事

この様な事業活動が実施されるのは、学生にとって喜ばしいことであると挨拶。井上浩義理事

研究の都合でヨーロッパを訪問します。学生の活動に参加して来ます。戸澤英典評議員

研究の都合でヨーロッパを訪問します。学生の活動に参加して来ます。戸澤英典評議員



チームリーダー
坂本卓哉 さかもとたくや
東北大学 法学部 法学科3年



戸澤春奈 とさわはるな
東北大学 法学部 法学科3年



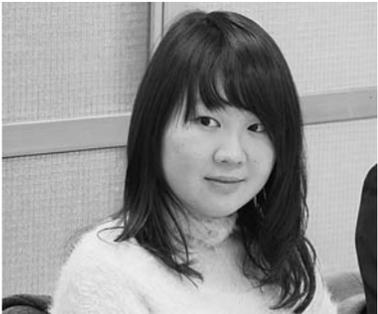
田島莉子 たしまりこ
早稲田大学 政治経済学部 政治学科3年



荒石浩司 あらいしこうじ
早稲田大学 政治経済学部 政治学科3年



佐藤正幸 さとうまさゆき
慶應義塾大学 医学部1年



林 有里紗 はやしありさ
岐阜大学 医学部 医学科1年



研究の都合でヨーロッパを訪問します。学生の活動に参加して来ます。戸澤英典評議員



研究の都合でヨーロッパを訪問します。学生の活動に参加して来ます。戸澤英典評議員



川手常務理事より「友愛概論」を基に講義を受ける。全員熱心に聞き入っていた



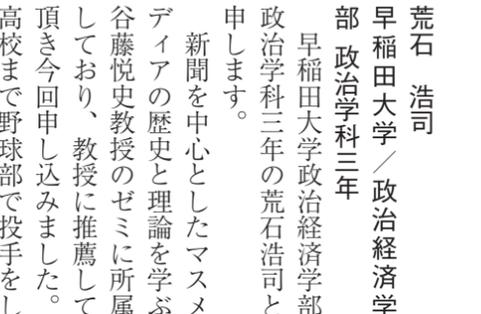
エヤツプとの関係などを交え、若人に国際感覚を持って欲しいと事業の概要を。鳩山由紀夫理事長



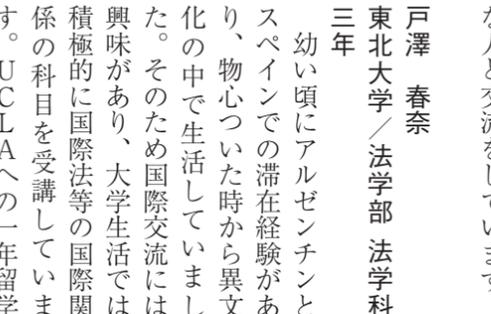
初めて会った六人の学生は、食事の頃には意気投合。柔軟な若さエネルギーが感じられる



出発前に理事長を囲んで記念撮影。全員笑顔が輝いている。ウイーンでの十日間が楽しみ!



初めに会った六人の学生は、食事の頃には意気投合。柔軟な若さエネルギーが感じられる



出発前に理事長を囲んで記念撮影。全員笑顔が輝いている。ウイーンでの十日間が楽しみ!

派遣員プロフィール紹介

坂本 卓哉 (チームリーダー)
東北大学 / 法学部 法学科三年
大学では国際関係論の演習に参加しており、ヨーロッパ統合、あるいはヨーロッパとアジアの関係について関心があります。旅行や短期留学で海外経験があり、オーストリアに訪れたこともあります。サークルはモダンジャズ研究会に所属しており、音楽の演奏・鑑賞を通じて、様々な人と交流をしています。

田島 莉子
早稲田大学 / 政治経済学部 政治学科三年
海外で勉強させていただける貴重な機会ということ、海外経験はありませんが、多くの人とコミュニケーションをとりつつ精一杯頑張ります。よろしくお願ひ致します。

戸澤 春奈
東北大学 / 法学部 法学科三年
幼い頃にアルゼンチンとスペインでの滞在経験があり、物心ついた時から異文化の中で生活して来ました。そのため国際交流には興味があり、大学生活では積極的に国際法等の国際関係の科目を受講しています。UCLAへの一年留学も行いました。

荒石 浩司
早稲田大学 / 政治経済学部 政治学科三年
早稲田大学政治経済学部政治学科三年の荒石浩司と申します。新聞を中心としたマスメディアの歴史と理論を学ぶ谷藤悦史教授のゼミに所属して、教授に推薦して頂き今回申し込みました。高校まで野球部で投手をし

林 有里紗
岐阜大学 医学部 医学科一年
以前から国際交流に興味がありました。大学生になってから初めての交流に期待を膨らませています。日本とオーストリアの文化の相互理解を深めたいです。

佐藤 正幸
慶應義塾大学 医学部一年
私は国籍や話す言語など関係なしに、人々と交流を回り、互いを深く知ることから生まれる繋がりを大切にしています。現地地しか得られない経験や、日本とオーストリアの友人と掛け替えない関係を作ることができたらと願っています。

谷藤悦史教授推薦)
(以上二名は早稲田大学 / 谷藤悦史教授推薦)

谷藤悦史教授推薦)
(以上二名は早稲田大学 / 谷藤悦史教授推薦)

谷藤悦史教授推薦)
(以上二名は早稲田大学 / 谷藤悦史教授推薦)

友愛 ほんだな

己を高める、人を育てる 実践・論語塾

「論語に学ぶ友愛」講座の教科書
読みやすく解りやすい論語の解説書

「論語」と言えば、「四十にして惑わず」「女子と小人養ひ難し」など、お馴染みの「子曰く……」で始まる章句を思い浮かべることでしょう。実は論語は二十の章、五百十余の章句から成り立つ膨大な読み物で、私たちが思いつく章句は、ほん

のその一部にすぎません。以前開催された「友愛婦人会論語講座」でも、読破に数年を要したとのこと。本書はその膨大な章句の中から、三十七の章句を取り上げ、解り易く解説しています。もともと水戸商工会議所の創立百二十周年記念の出版物として編纂されたものでしたが、水戸商工会議所和田祐之介会頭の「多くの方に論語を」という思いが実り、ポプラ社から出版されました。

著者の安岡定子先生は、安岡正篤氏を祖父にもち、論語一筋、現在ではひと月に三十近い講座をこなし、テレビ、ラジオにも登場、著書も多数という大活躍をされています。時に正面から論語を解説、あるいは孔子の人となりなどの楽しいエピソードを交えての講座は大人気で、幼稚園児から



著者：安岡定子
発行：ポプラ社
体裁：B6変形版
190頁 上製本

経営者までと、受講する年齢層の幅の広さにも驚かされます。「己を高める、人を育てる」とした『実践・論語塾』は、ある意味、論語を知り尽くした安岡先生が選んだ、論語の中枢ともいえる一冊です。「熟読玩味、じっくり考える」はもとより、安岡論語塾で実践している「素読」(声に出して読んでみる)もお薦めです。開講中の「論語に学ぶ友愛講座」でも、素読は好評でした。安岡先生が本書のはじめに書かれている「人生万象の答えが『論語』の中に

ある」というのであれば、やはり読んでみなければもったいないですね。実際に触れてその魅力を実感していただきたいと思えます。言葉に、全てが言い尽くされているように思えます。本書は「論語に学ぶ友愛講座」の教科書として使われています。講座に参加出来なかった方も、是非手にとって、論語に親しんでいただきたいお薦めの一冊です。
(H)

*購入ご希望の方は、事務局まで。安岡先生のサイン入り本をお送りします

日本友愛協会 ホームページ刷新

yuaikyokai.com へ是非アクセスを!
友愛山荘関連は、スマートフォン対応

会員登録もウェブ上で可能になりました
トップに鳩山一郎先生の書「友愛」登場



日本友愛協会のホームページのデザインが刷新されました。鳩山一郎先生の書「友愛」がトップのタイトルに使われています。その他、各ブロックのキービジュアルに

は、鳩山会館のバラや庭の景色を取り入れ、美しく仕上がっています。お出かけ時、宿泊の相談をしているときなどすぐに見られる様、友愛山荘関連は、全ての情報がスマートフォン

フォン対応になっていきますので、ご利用ください。新しくなった日本友愛協会ホームページに是非アクセスしてください。HP上でお気づきの点は事務局までお知らせください

友愛山荘宿泊予約!! 29年度受付が始まりました!!



- ♪ 新幹線駅から徒歩7分
- ♪ 大型バスも駐車できる
- ♪ 団体割引は5名から適用
- ♪ グランドピアノ他ピアノ3台設置
- ♪ 視聴覚設備完備「友愛ホール」併設
- ♪ ミニコンサートにもぴったり!!



施設詳細はHPで!! スマホで検索もできます!!
<http://yuaikyokai.com>

お問合せ
空室状況はこちらへ
お電話ください

一般財団法人日本友愛協会
TEL 03-5684-3188
FAX 03-5684-3186

機関紙『友愛』にご投稿ください!

機関紙『友愛』編集部では、皆様のご投稿をお待ちいたしております。ご自身の活動報告、地域の名物紹介、季節のお便り等、何でも結構です。写真も大歓迎です。皆様の『友愛』に奮ってご投稿ください。

お詫び 機関紙『友愛』546号は、掲載記事(ベトナム車椅子贈呈式開催)の都合で、発行・配送が遅れました。慎んでお詫び申し上げます。

時事川柳 服部迪夫 作
—ひとり酒
—ノーベル賞利き酒をするポ
—富士山初冠雪
—今年また帽子をかぶる君に
—トランプ氏
—アメリカが爆弾男に託す夢
—改めて人種のルツボ知るお
—京都の秋
—実相院床のみみじで秋を知
—博多編
—大都市に住む空洞という魔
—牛久出身
—大仏に祝福される稀勢の里
—天下り問題
—官僚の間をキツツキ穴を開

◆桜の季節とともに私の好きな句を一筆啓上。
「あれを見よ、深山の桜咲きにけり 真心尽くせ 人知らずとも」(箱根峠石碑)
「人知るもよし 人知らぬもよし 我咲くなり」
(実篤)
「さまざまなこと 思い出す 桜かな」 (芭蕉)
「明日ありと 思う心のあだ桜 夜半に風の吹かぬものかは」 (親鸞)
「花を見るなら五分咲き 酒を飲むならほろ酔いかげん」 (業根譚)
お花見の席では下の句をご参考に
「春眠不覚曉」(孟浩然)
偶にはのんびりしよう(K)
◆WBC一次ラウンドが始まり、今年の野球シーズンには華やかな始まりだ。テレビでも野球関連の番組が多い。その一こまで、村田兆治さんが投げ、古田敦さんが受けるという場面を偶然見た。古田さんがキャッチャーマスクを着け座る姿に、思わず胸が熱くなった。本当に素晴らしい選手だったと思ひ出す。伊東勤さん、城島健司さん名捕手三人、野茂英雄さん、西口文也さん、下柳剛さん私の好きな投手三人、古田さんの姿から次々懐かしい選手を思い出す。今季も昨年の熱い日本シリーズのような、面白い試合が楽しみだ。今年は久しぶりに、ピール片手にスタンドから大声を上げる快感を味わいに、球場に行こうかしら。
(も)

